

第2回行文線未整備区間の整備再開に向けた村民説明会 議事録

日時 平成29年9月26日(火)午後7時から

場所 地域福祉センター2階会議室

事務局 副村長

村役場総務課長

村役場建設水道課長

支庁土木課長

支庁土木課道路河川担当

参加者 5名

説明内容等については、午後2時からの部と同様

質疑応答

(参加者) 仕事がガイドなのでガイド業をするうえでの話をすると、ルート案3の方が、見晴らしが良くなる部分もあってありがたいと思います。見送り船とかするときの良いなと思いました。また、ルート案1だと電信山遊歩道をルートが交差しますよね。そこは橋かなんか建てるんですか。区切れてしまうんですか。

(土木課長) 今のところ検討中ですが、よく多摩地区であるのは道路を一回横断してもらって法面をまた上ってもらいます。法面の両方にルートを作って接続して、一回下りて横断してそこに階段があるというのが現実的です。

(参加者) 他に気になったのは、法面はどうする予定ですか。削って金網を張る感じですか。それとも、緑化するのか。

(道路河川担当) 今のこの法面は、単純に安定勾配で切っているだけです。斜面が安定する角度に単純に切っている、そのときに安定しているので何もしなくてもいい状態です。

(参加者) ということは、もとあった植生を復旧するのは考えていないんですか。

(道路河川担当) それも考えられます。ただし、これはあくまでも単純に安定勾配で切っただけなので、吹きつけを行ったりとか工法によっては、もっと今の技術を使えば斜面を立てることができます。立てることができれば改変面積が小さくなっていきます。地上案で最大に土地を改変させたときには、どれだけの影響があるのかということをお示しさせていただいています。それに対して今後移植するのか、あるいは自然の力でもとあった在来林を戻すのかとかいうことは、また専門家会議に諮りながら一番より良い方法を見つけ出していきたいというふうに考えております。

(参加者) どうしてもいろいろな所を見てしまうと、単純に島民としてガイドとか関係なく言えば道を作らない方が個人的にはうれしいです。あとは、トンネルを作った場合は、一切遊歩道は途切れないわけですね。

(道路河川担当) ここからの途切れはないです。

(参加者) ということは、山の斜面は一切さわらない。

(道路河川担当) そうです。ここは一切さわりません。この坑口はどうしても前後と、そしていずれにしても橋を作らなければいけないので、橋の所はさわります。

(参加者) 採掘した石などについて、地質の調査はしたんですか。

(道路河川担当) それはこれからです。来年度に行っていきたいと考えております。

(参加者) 電信山遊歩道はツアーでもよく使いますが、あのあたりはたたいてももろいのがあってあの中にトンネルを作るとなると落ちそうな気がします。

(道路河川担当) 結果は地質調査を見てみなければ分かりませんが、既設のトーチカはもう何十年経っているのか分かりませんが、すごい健全です。崩落している所が無くて、若干崩落している所もありますが、こんなように人間が手で掘ったものだと思いますが、非常に健全な状態が保たれているということを見ると、やはりトンネルを掘進するには大きな問題は無いんじゃないかと捉えています。

(参加者) 例えば水が染み出してくる穴から、どのへんに岩の亀裂が入っているかということとは分かりませんよね。岩の切れ目があるから水が出るわけなので。

(道路河川担当) これが元はどこから出てきているかというのは、想定はできません。ですが、ここを見る限りでは非常にドライな状態であると確認できているので、何らかの染み出し水ではありますがどこからの水を引っ張ってきたかというのは分かりません。

(副村長) 電信山の歩道上は、ここの熱と夜の冷えに何回もさらされてもろくなっていますが、それと中はまた違うと思います。

(参加者) 需要が無いわけではないルートなので、中を通ってくれるとありがたいです。電信山遊歩道を使う分には関係ないですね。

(道路河川担当) トンネル案だと既存の部分は使えます。ただ、当然工事車両がここを通りますので、そのときにご不便はおかけすることになります。

(参加者) 勝手な予想をしてしまうと、今清瀬のあたりは島民の方ばかりで観光ルートがないので、それこそ電信山と釣浜に行くくらいなので観光客はあまり通らないと思いますが、そこにルートがあるとしかも新しく道ができたとなると観光客の人が利用しそうな気がします。特に歩いて利用する地図が読めない観光客も多いので、そうするとそこを徒歩でうろうろする人が出ると今まで人が通らない所に急に観光客が来ると、おそらく昔からいらっしゃる人たちは、あやしい観光客がうろうろしているという苦情は来るかもしれません。

(道路河川担当) 新しい道路ができれば少なからず人は興味を持って行くかもしれません。

(参加者) そこは看板を立てるとか何かしないと島の人も戸惑うかなと思います。あと、削った石などは、どこに置くんですか。

(道路河川担当) 村の残土処分場に持って行くというところなんですけれども、そのあたりが村さんの方でご用意していただけたらと思っていますが、今キャパシティがだいぶな

くなってきたということで……

(副村長) 島のどこかで確保できるよう当然動いていきます。

(参加者) トンネルを掘るときに戦跡は触れていいものなのでしょうか。トンネルを掘るときに戦跡に当たってしまうと思いますが。

(副村長) 戦跡をどう評価するかですが、私が知っている限りでいうと工兵隊の居住のための壕だったりとか位置づけとして司令部であったとかそういう所とは違うと話を聞いているので、あとは二百何箇所壕があるとどこか当たるという中では仕方ないのかなと思っています。

(参加者) ガイドで使っている壕ではないといいのですが。

(副村長) 活用されている場所ではないです。

(参加者) 個人的にはルート案3がうれしいです。できればルート案1は削る所がすごいと思うのと、山を削るので水の抜けもきっと早くなると思います。表面の植物を削ってしまうと。できるだけ削らないところで植生を守るルート案3が良いんじゃないかと思いません。